

## 公立一般入試に向けての心構え

国私立入試、高専入試、公立推薦入試が終了しました。大阪教育大学附属池田高等合格の3名をはじめ、専願合格者にとってはまさに最高の気分でしょう。心よりおめでとうと言いたいです。しかし併願受験者はまだまだ**通過点**。併願で合格だった生徒も「回し合格」になった生徒もその結果を受けて「次に繋げること」が大切です。不本意な結果だった理由を「ヤマがはずれた」などと考えてはダメです。「**実力がなかった**」と謙虚に認めて下さい。「本番でなくて助かった」のです。「**ピンチの後にチャンスあり**」。考え方ひとつで第1志望校受験の結果を左右することになります。特に今年は複数志願初年度なので例年より発表倍率が高いかもしれませんが、**見かけの数字に一喜一憂しないで「やるべきことに集中」**して下さい。本番まであと20日。今こそ「**挫折禁止（あきらめない）**」の真意を心に刻みつける時がやってきたのです。  
〔野垣 勝彦〕

2.3月のおもなスケジュール		
2/26	木	公立直前ゼミ
27	金	公立直前ゼミ 新高1スタートアップ講座開始
28~ 3/4		公立直前ゼミ
5	木	2015年度 新年度スタート
7	土	公立直前ゼミ
8	日	公立直前ゼミ やる気UP こんさあと
12	木	公立一般入試日
14	土	新高1 激励会
19	木	公立一般合格発表日
21	土	春分の日【授業あり】 春期新規生ガイダンス
25	水	3月度授業終了 新高1スタートアップ講座終了
26	木	春期講習開始
28	土	三田 Spring フェスタ

## 特色選抜・推薦入試

北摂三田をはじめとする「特色選抜」や三田祥雲館をはじめとする「推薦入試」では、一般入試のような教科の筆記試験とは異なり、各高校によって独自に作られた ①小論文 ②適性検査 ③実技検査などの試験を受けます。①小論文では、筆者の主張を踏まえた上で自分自身の意見を述べる力 ②適性検査では、資料などを用いた思考力・読解力・表現力 ③実技検査では、おもに英語によるコミュニケーション能力が問われます。特進館学院では小・中学生を対象に、①作文添削教室 ②思考力検定講座 ③インターネット英会話 MEET the WORLD の3つの選択講座を開講し、こういった試験にも対応できる力を早くから育成していきます。〔福島雅人〕



20150201 **愛すスケート**  
で銀盤を満喫しました！

## 本部事務局より

3月分学費の振替日は、2/27（金）となっております。3/5（木）より新年度の授業がスタートいたします。先月の特進館通信と、メールにてご連絡させていただきましたが、3月分学費とあわせて新年度教材費をご請求させていただきます。ご不明な点等ございましたら、本部事務局（TEL:079-563-0300）までお問い合わせください。

## 『こまぎれ時間』を活用する

「時間を有効に活用する」。今さらここに標記するのも恥ずかしいくらい、すでに使い古された言葉ですが、私はこの「時間」という生き物に、けっこうこだわりながら日々を過ごしています。大人と子ども、エライ人と平凡人、セレブと一般庶民。万人に平等に分け与えられているものが時間。誰しも一日の持ち時間は**24時間のみ**。だからこそ、時間は工夫しないと人生の一部を無駄にしてしまいます。そこで、注目したいのが「**3つの無駄な時間**」。「待つ時間」、「探す時間」、「移動する時間」という『こまぎれ時間』です。一日の中に、数秒～数分のそんな時間が点在し、合算すると何時間にもなってしまうことが…。そのような時間を一度見つめ直してみてもいいでしょうか？「待つ時間を減らす」、「整理整頓を心掛ける」、「移動手段を工夫する」など…。もしくは、そんな時間を利用して他の仕事や用事を片付けてしまうという手もあります。最近では、携帯やスマホなども普及していますので可能ではないでしょうか？最後に、私は日ごろ次のようなネガティブな言葉を人には言わないように心掛けています。「忙しい…本当に忙しい場合はその言葉すら出ません」、「**疲れた（しんどい）**…自分だけが苦しんでいるみたいな、独りよがりな言葉だと思います」、「**苦労した**…自分で言うのではなく、他人から言われるべき言葉です」の3つ。受験でも、仕事でも、『こまぎれ時間』を活用して、時間とうまくつき合うことが、成功に結びつく「カギ」ではないかと考えています。みなさんはどのようにお考えでしょうか？〔北村昌弘〕

## 編集 後記

まだまだ寒い日が続きますが、確実に季節は春へと移行しています。梅のつぼみが大きくなってきたり、屋間の日差しに暖かさが増してきたり…。今年度の終わりを迎え、新しい年度がはじまるこの時期、子ども達はもちろんですが保護者も何かと気忙しい毎日を送っていませんか？大人が醸し出す雰囲気や子ども達は敏感に感じとっています。子ども達が価値ある休息の時間をとるために、私たち大人も充実した休息をとるようにしたいですね。